



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年1月24日 No.567

2023春闘シリーズ①



JR東日本で働く社員のみなさん！

物が高くて、晩ご飯のおかずが一品減ったよ(;^ω^)

仕事量と給料が見合っていない

異動で家族という時間が減ったわ(涙)

入社4年目以降の社員も大切にしてほしい

本音で自分の賃金のことや生活について語り合いませんか？

「春闘」の文字が新聞やネットニュースなどでも目に付きはじめました。

春闘（春季生活闘争や春季闘争などの略称）とは、多くの企業が期末決算期を迎える中、産業別や企業別の労働組合が毎年同じ時期に要求・交渉し、組織の大きい労働組合が先行して賃金引き上げの「相場」をつくるなど、労働者全体の賃金引き上げや労働条件の向上をめざすことを言います。

私たちJR東日本で働く社員全体の賃金を引き上げるためには、大きく2つのケースが考えられます。一つは経営側から「全社員の賃金を引き上げます」と労働組合に提案するケースと、二つ目は労働組合が「全社員の賃金を引き上げなさい」と経営側に要求を提出・交渉し、経営側から賃上げ回答を勝ちとるケースです。

経営側から賃金引き上げの提案は、1月18日に提案した「初任給特別措置の実施について」のように、一部の社員を対象とした「特別措置」や「手当の新設」などのケースはあるものの、経営側自らが社員全体の賃金を引き上げるケースはJR東日本が発足してから一度もありません。

私たち社員全体の賃金を引き上げる取り組みは、労働組合が経営側に要求を提出してからはじまります。私たち東日本ユニオンも春闘要求の検討を進めています。（東日本ユニオンNEWS564号参照）

社員全体の賃金引き上げは 労働組合が経営側に 要求を提出することからはじまります！

一人ひとりの力を集めれば**大きな力**になります！

東日本ユニオンに**加入**して一緒に**賃上げ**を実現しよう！